

学校コード F128310108776

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

神戸親和女子大学

文学部

心理学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人親和学園

令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学長室

職名・氏名

電話番号 078-591-2897

（夜間） 078-591-2897

e-mail kikaku@kobe-shinnwa.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

文学部

＜心理学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	34
7. その他全般的事項	35

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人親和学園

(2) 大学名

神戸親和女子大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒651-1111
兵庫県神戸市鈴蘭台北町7丁目13-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ヤマネ コウヘイ) 山根 耕平 (平成21年5月29日)		
学長	(ミツイ トモヨ) 三井 知代 (平成30年4月1日)		
学部長	(ササガワ ヨウコ) 笹川 洋子 (平成30年4月1日)	(ツジカワ ノリフミ) 辻川 典文 (令和4年4月1日)	前任者の退職による変更 令和4年4月1日 (4)
学科長等	(ツジカワ ノリフミ) 辻川 典文 (平成30年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)
令和4年度に報告する内容 → (4)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部や学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
文学部 心理学科 学士（心理学）	文学関係	4 年	60 人	0 人	240 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	-	-	-	-	-	-	60	-	60	-	0.76倍	-	倍
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
志願者数	-	-	-	-	-	-	187	-	167	-			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[4]	[-]	[7]	[-]			
受験者数	-	-	-	-	-	-	181	-	157	-			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[4]	[-]	[7]	[-]			
合格者数	-	-	-	-	-	-	134	-	116	-			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[4]	[-]	[7]	[-]			
B 入学者数	-	-	-	-	-	-	49	-	42	-			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[2]	[-]	[7]	[-]			
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	0.82	-	0.7	-			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出して下さい。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	- [-] (-)	49 [2] (-)	- [-] (-)	42 [7] (-)	- [-] (-)						
2 年次	/		- [-] (-)	- [-] (-)	46 [2] (-)	- [-] (-)					
3 年次			/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)
4 年次	/						/		/		- [-] (-)
計			- [-] (-)					49 [2] (-)			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
令和元年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	49 人	3 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	3 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(1人)、他大学入学(1人)、就職(1人)
令和4年度	88 人	0 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
合計		3 人		3 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{49} = \boxed{6.12} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{88} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<文学部 心理学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ベシツク・スキル	基礎演習Ⅰ	1前	1			1	2					
	基礎演習Ⅱ	1後	1			1	2					1
	健康行動学	1前	2									1
	ICT基礎Ⅰ	1前	1									1
	ICT基礎Ⅱ	1後	1			1						1
	総合英語Ⅰ	1前	1									3
	総合英語Ⅱ	1後	1									3
	Interactive EnglishⅠ	1前	1									1
	Interactive EnglishⅡ	1後	1									1
	小計(9科目)			10	0	0	1	2	0	0	0	0
外国語コミュニケーション	Interactive EnglishⅢ	2前	1									1
	Interactive EnglishⅣ	2後	1									1
	Interactive EnglishⅤ	3前	1									1
	Interactive EnglishⅥ	3後	1									1
	Face to Face English	1後	1									1
	留学英語	1前	1									1
	フランス語Ⅰ	1前	1									1
	フランス語Ⅱ	1後	1									1
	ドイツ語Ⅰ	1前	1									1
	ドイツ語Ⅱ	1後	1									1
	中国語Ⅰ	1前	1									2
	中国語Ⅱ	1後	1									1
	中国語Ⅲ	2前	1									1
	中国語Ⅳ	2後	1									1
韓国朝鮮語Ⅰ	1前	1									2	
韓国朝鮮語Ⅱ	1後	1									1	
韓国朝鮮語Ⅲ	2前	1									1	
韓国朝鮮語Ⅳ	2後	1									1	
文化の人間	哲学	1後	2									1
	心理学概論	1前	2			2						1
	日本史	1後	2									1
	世界史	1後	2									1
	文学と文化	2前	2									1
現代社会と市民	法学	1前	2									1
	社会学	1前	2									1
	日本国憲法	1後	2									1
	政治学	1前	2									1
	経済学	1前	2									1
	ボランティア実習	1前	1									1
	環境教育論	2前	2									1
	情報と社会	2前	2									1
	現代と金融	2後	2									1
	人権問題	2前	2									1
くつと女性を社会	家族社会学	1後	2									1
	女性学	1前・後	2									1
	少子社会	2前	2									1
生命と自然	基礎体育学	1後	1									2
	物理学	1後	2									1
	人間と自然	1前	2									1
	栄養学	1後	2									1
	数学	1前	2									1
多文化を生きる	神戸学	2前	2									1
	多文化社会	2後	2									1
	国際理解教育論	2後	2									1
	海外語学研修	1休	3									1
	海外英語研修	1休	3									1
情報シテラ	情報科学	1前	2									1
	情報処理演習A	2前	2									1
	情報処理演習B	2後	2									1
	情報処理演習C	2前・後	2									1
	キャリア探求Ⅰ	1後	2			1						1
日本語コミュニケーション(留学生)	日本語Ⅰ	1前	1									2
	日本語Ⅱ	1前	1									1
	日本語Ⅲ	1後	1									1
	日本語Ⅳ	1後	1									1
	日本語Ⅴ	2前	1									1
	日本語Ⅵ	2前	1									1
	日本語Ⅶ	2後	1									1
	日本語Ⅷ	2後	1									1
	日本語能力試験Ⅰ	1前	1									2
	日本語能力試験Ⅱ	1前	1									1
日本語能力試験Ⅲ	1後	1									1	
日本語能力試験Ⅳ	1後	1									1	
日本事情Ⅰ	2前	2									1	
日本事情Ⅱ	2後	2									1	
日本事情研究Ⅰ	2前	2									1	
日本事情研究Ⅱ	2後	2									1	
小計(76科目)			120	0	0	3	0	0	0	0	0	51
合計(85科目)			120	0	0	3	0	0	0	0	0	56

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ベシツク・スキル	基礎演習Ⅰ	1前	1			1	1					
	基礎演習Ⅱ	1後	1			1	2					1
	健康行動学	1前	2									1
	ICT基礎Ⅰ	1前	1									1
	ICT基礎Ⅱ	1後	1			1						1
	総合英語Ⅰ	1前	1									3
	総合英語Ⅱ	1後	1									3
	Interactive EnglishⅠ	1前	1									1
	Interactive EnglishⅡ	1後	1									1
	小計(9科目)			10	0	0	1	3	0	0	0	0
外国語コミュニケーション	Interactive EnglishⅢ	2前	1									1
	Interactive EnglishⅣ	2後	1									1
	Interactive EnglishⅤ	3前	1									1
	Interactive EnglishⅥ	3後	1									1
	Face to Face English	1後	1									1
	留学英語	1前	1									1
	フランス語Ⅰ	1前	1									1
	フランス語Ⅱ	1後	1									1
	ドイツ語Ⅰ	1前	1									1
	ドイツ語Ⅱ	1後	1									1
	中国語Ⅰ	1前	1									2
	中国語Ⅱ	1後	1									1
	中国語Ⅲ	2前	1									1
	中国語Ⅳ	2後	1									1
韓国朝鮮語Ⅰ	1前	1									2	
韓国朝鮮語Ⅱ	1後	1									1	
韓国朝鮮語Ⅲ	2前	1									1	
韓国朝鮮語Ⅳ	2後	1									1	
文化の人間	哲学	1前	2									1
	心理学概論	1前	2			2						1
	日本史	1後	2									1
	世界史	1後	2									1
	文学と文化	2前	2									1
現代社会と市民	法学	1前	2									1
	社会学	1後	2									1
	日本国憲法	1後	2									1
	政治学	1前	2									1
	経済学	1前	2									1
	ボランティア実習	1前	1									2
	世界の現状と課題	1後	2									1
	環境教育論	2前	2									1
	情報と社会	2前	2									1
	現代と金融(未開講)	2後	2									1
人権問題	2前	2									1	
くつと女性を社会	家族社会学	1後	2									1
	女性学	1前・後	2									1
	少子社会	2前	2									1
生命と自然	基礎体育学	1後	1									2
	物理学	1後	2									1
	人間と自然	1前	2									1
	栄養学	1後	2									1
	数学	1前	2									1
多文化を生きる	神戸学	2前	2									1
	多文化社会	2後	2									1
	国際理解教育論	2後	2									1
	海外語学研修(未開講)	1休	3									1
	海外英語研修(未開講)	1休	3									1
情報シテラ	情報科学	1前	2									1
	AIとデータサイエンス	1後	2									1
	情報処理演習A	2前	2									1
	情報処理演習B	2後	2									1
	情報処理演習C	2前・後	2									1
キャリアデザイン	キャリア探求Ⅰ	1後	2									1
	キャリア探求Ⅱ	2前	2			1						1
	キャリアアップA	3前	2									1
	キャリアアップB	3後	2									1
	キャリアアップC	4後	2									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助			
必修科目	基本科目	臨床心理学概論	1前	2				1	1				
		発達心理学概論	1前	2			1						
		感情・人格心理学	1後	2				1					
		心理学実験・実習A	1前	1				1					2
		心理学実験・実習B	1後	1				1					2
		学習・言語心理学	2後	2			1						
		社会・集団・家族心理学	2後	2				1					
		心理学研究法 I	2後	2					1				1
		心理学的支援法	2後	2						1			
	小計(9科目)	-	16	0	0	3	3	1	0	0	0	3	
	演習科目	心理学基礎演習 I	2前	2			1	2					
		心理学基礎演習 II	2後	2			1	2					
		心理学専門演習 I	3前	2			4	3	1				
		心理学専門演習 II	3後	2			4	3	1				
心理学専門演習 III		4前	2			4	3	1					
心理学専門演習 IV		4後	2			4	3	1					
卒業研究		4通	6			4	3	1					
小計(7科目)	-	18	0	0	4	3	1	0	0	0	0		
専門教育科目	ビジネス・社会心理コース	経営学	1後	2								1	
		企業分析論	2前	2								1	
		広告心理学	3前	2				1					
		消費者心理学	3後	2								1	
		産業・組織心理学	3前	2				1					
		キャリア支援の心理学	3後	2								1	
		社会心理学実験・実習	2後	1				1					
		知覚・認知心理学	2後	2				1					
		色彩心理学	2前	2				1					
		色彩学	2後	2				1				1	
		音楽心理学	2後	2								1	
		心理学プログラミング実習	3後	1								1	
		公認心理師・臨床心理士コース	発達臨床心理学 I	2前	2				1				
			発達臨床心理学 II	2後	2				1				
			臨床心理学実習	2前	1								1
	カウンセリング		3前	2				1					
	精神疾患とその治療		3後	2			1						
	心理的アセスメント		3前	1								1	
	青年心理学		2前	2								1	
	福祉心理学		2後	2								1	
	障害者・障害児心理学		3後	2								1	
	司法・犯罪心理学		3前	2								1	
	関係行政論		3後	2								1	
	公認心理師の職責		3前	2			1	1					
	心理演習		3後	2			1	1					
	心理実習		3前・休	2			4	1	1				
	子ども実習		2休	1			1					1	
	神経・生理心理学	3前	2								1		
	健康・医療心理学	2前	2								1		
	人体の構造と機能及び疾病	3後	2								1		
小計(30科目)	-	0	55	0	4	3	1	0	0	0	13		
学部内共通科目	デザイン思考論	1前	2									1	
	社会イノベーション論	2後	2									1	
	プレゼンテーションの技法	2後	2									1	
	ビジネス心理学	1後	2				1					1	
	経済心理学	2前	2				1					1	
	マーケティング論	2後	2									1	
	小計(6科目)	-	0	12	0	0	2	0	0	0	0	3	
	発展科目	短い心理学	1前	2			2						
		家族心理学	1後	2			1						
		子どもから見た世界	1後	2			1						
		発達心理学	2後	2									1
		教育・学校心理学	3後	2				1					
		神経心理学	2前	2									1
自然環境と心理		1前	2									1	
スポーツ心理学		2前・後	2									2	
英書講読A		3前	2				1						
英書講読B		4前	2				1						
情報と統計		1前	2									1	
心理学統計法		2後	2				1						
多変量解析		4前	2				1						
心理学研究法 II		3前	2			1							
心理学実験		3後	1			1							
海外心理学研修		1休	3			1							
小計(16科目)		-	0	32	0	2	3	0	0	0	0	6	
合計(68科目)		-	34	99	0	4	3	1	0	0	0	21	
卒業要件及び履修方法													
共通教育科目群から必修科目10単位、選択科目10単位以上、専門教育科目群から必修科目34単位、選択科目42単位以上を修得し、124単位を修得すること。 (履修科目の登録の上限：50単位(年間))													

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助			
必修科目	基本科目	臨床心理学概論	1前	2				1	1				
		発達心理学概論	1前	2			1						
		感情・人格心理学	1後	2				1					
		心理学実験・実習A	1前	1				1					2
		心理学実験・実習B	1後	1				1					2
		学習・言語心理学	2後	2			1						
		社会・集団・家族心理学	2後	2				1					
		心理学研究法 I	2後	2					1				1
		心理学的支援法	2後	2						1			
	小計(9科目)	-	16	0	0	3	3	0	0	0	0	3	
	演習科目	心理学基礎演習 I	2前	2			2	1					
		心理学基礎演習 II	2後	2			2	1					
		心理学専門演習 I	3前	2			5	3					
		心理学専門演習 II	3後	2			5	3					
心理学専門演習 III		4前	2			5	3						
心理学専門演習 IV		4後	2			5	3						
卒業研究		4通	6			5	3						
小計(7科目)	-	18	0	0	5	3	0	0	0	0	0		
専門教育科目	ビジネス・社会心理コース	経営学	1前	2								1	
		企業分析論	2前	2								1	
		広告心理学	3前	2				1					
		消費者心理学	3後	2								1	
		産業・組織心理学	3前	2				1					
		キャリア支援の心理学	3後	2								1	
		社会心理学実験・実習	2後	1				1					
		知覚・認知心理学	2後	2				1					
		色彩心理学	2前	2				1					
		色彩学	2後	2				1				1	
		音楽心理学	2後	2								1	
		心理学プログラミング実習	3後	1								1	
		公認心理師・臨床心理士コース	発達臨床心理学 I	2前	2				1				
			発達臨床心理学 II	2後	2				1				
			臨床心理学実習	2前	1								1
	カウンセリング		3前	2				1					
	精神疾患とその治療		3後	2			1						
	心理的アセスメント		3前	1								1	
	青年心理学		2前	2								1	
	福祉心理学		2後	2								1	
	障害者・障害児心理学		3後	2								1	
	司法・犯罪心理学		3前	2								1	
	関係行政論		3後	2								1	
	公認心理師の職責		3前	2			1	1					
	心理演習		3後	2			1	1					
	心理実習		3前・休	2			4	2					
	子ども実習		2休	1			1					1	
	神経・生理心理学	3前	2								1		
	健康・医療心理学	2前	2								1		
	人体の構造と機能及び疾病	3後	2								1		
小計(30科目)	-	0	55	0	5	3	0	0	0	0	16		
学部内共通科目	デザイン思考論	1前	2									1	
	社会イノベーション論	2後	2									1	
	プレゼンテーションの技法	2後	2									1	
	ビジネス心理学	1後	2				1					1	
	経済心理学	2前	2				1					1	
	マーケティング論	2後	2									1	
	小計(6科目)	-	0	12	0	1	0	0	0	0	0	4	
	発展科目	短い心理学	1前	2			2						
		家族心理学	1後	2			1						
		子どもから見た世界	1後	2			1						
		発達心理学	2後	2									1
		教育・学校心理学	3後	2				1					
		神経心理学	2前	2									1
自然環境と心理		1前	2									1	
スポーツ心理学		2前・後	2									2	
英書講読A		3前	2				1						
英書講読B		4前	2				1						
情報と統計		1前	2									1	
心理学統計法		2後	2				1						
多変量解析		4前	2				1						
心理学研究法 II		3前	2			1							
心理学実験		3後	1			1							
海外心理学研修		1休	3			1							
小計(16科目)		-	0	32	0	3	2	0	0	0	0	7	
合計(68科目)		-	34	99	0	8	3	0	0	0	0	27	
卒業要件及び履修方法													
共通													

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ベーシック・スキル	基礎演習Ⅰ	1前	1				3					
	基礎演習Ⅱ	1後	1				2	1				
	健康行動学	1前	2									1
	ICT基礎Ⅰ	1前	1									2
	ICT基礎Ⅱ	1後	1									2
	総合英語Ⅰ	1前	1									4
	総合英語Ⅱ	1後	1									4
	Interactive EnglishⅠ	1前	1									1
	Interactive EnglishⅡ	1後	1									1
	小計(9科目)			10	0	0	0	3	1	0	0	0
外国語コミュニケーション	Interactive EnglishⅢ	2前	1									1
	Interactive EnglishⅣ	2後	1									1
	Interactive EnglishⅤ	3前	1									1
	Interactive EnglishⅥ	3後	1									1
	Face to Face English	1後	1									1
	留学英語	1前	1									1
	フランス語Ⅰ	1前	1									1
	フランス語Ⅱ	1後	1									1
	ドイツ語Ⅰ	1前	1									1
	ドイツ語Ⅱ	1後	1									1
	中国語Ⅰ	1前	1									2
	中国語Ⅱ	1後	1									1
	中国語Ⅲ	2前	1									1
	中国語Ⅳ	2後	1									1
	韓国朝鮮語Ⅰ	1前	1									3
	韓国朝鮮語Ⅱ	1後	1									1
韓国朝鮮語Ⅲ	2前	1									1	
韓国朝鮮語Ⅳ	2後	1									1	
文化の人間	哲学	1前	2				1					1
	心理学概論	1前	2									1
	日本史	1後	2									1
	世界史	1後	2									1
	文学と文化	2前	2									1
現代社会と市民	法学	1前	2									1
	社会学	1前	2									1
	日本国憲法	1後	2									1
	政治学	1前	2									1
	経済学	1後	2									1
	ポランティア実習	1前	1									2
	世界の現状と課題	1後	2									1
	環境教育論	2前	2									1
	情報と社会	2前	2									1
	現代と金融	2後	2									1
人権問題	2前	2									1	
くつと女性を社会を	家族社会学	1後	2									1
	女性学	1前・後	2									1
	少子社会	2前	2									1
生命と自然	基礎体育学	1後	1									1
	物理学	1後	2									1
	人間と自然	1前	2									1
	栄養学	1後	2									1
	数学	1前	2									1
	地球環境	2後	2									1
多文化を生きる	神戸学	2前	2									1
	多文化社会	2後	2									1
	国際理解教育論	2後	2									1
	海外語学研修	1休	3									1
	海外英語研修(未開講)	1休	3									1
情報リテ	アジア文化研修	1休	2									2
	情報科学	1前	2									1
キャリアデザイン	キャリア探求Ⅰ	1後	2				1					1
	キャリア探求Ⅱ	2前	2				1					1
	キャリアアップA	3前	2									1
	キャリアアップB	3後	2									1
	キャリアアップC	4後	2				1					1
日本語コミュニケーション(留学生)	インターンシップA	2前・後	1									1
	インターンシップB	2前・後	1									1
	海外インターンシップ(未開講)	2前	2									1
	日本語Ⅰ	1前	1									1
	日本語Ⅱ	1前	1									1
日本語Ⅲ	1後	1									1	
日本語Ⅳ	1後	1									1	
日本語Ⅴ	2前	1									1	
日本語Ⅵ	2前	1									1	
日本語Ⅶ	2後	1									1	
日本語Ⅷ	2後	1									1	
日本語能力試験Ⅰ	1前	1									2	
日本語能力試験Ⅱ	1前	1									1	
日本語能力試験Ⅲ	1後	1									1	
日本語能力試験Ⅳ	1後	1									1	
日本事情Ⅰ	2前	2									1	
日本事情Ⅱ	2後	2									1	
日本事情研究Ⅰ	2前	2									1	
日本事情研究Ⅱ	3後	2									1	
小計(77科目)			0	122	0	0	2	0	0	0	0	54
合計(86科目)			10	122	0	0	3	1	0	0	0	62

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担				
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助					
必修科目	基本科目	臨床心理学概論	1前	2			1	1							
		発達心理学概論	1前	2			1								
		感情・人格心理学	1後	2				1					2		
		心理学実験・実習A	1前	1				1					2		
		心理学実験・実習B	1後	1				1					2		
		学習・言語心理学	2後	2			1								
		社会・集団・家族心理学	2後	2				1							
		心理学研究法Ⅰ	2後	2					1				1		
		心理学的支援法	2後	2						1					
	小計(9科目)	-	16	0	0	2	3	1	0	0	0	3			
	演習科目	心理学基礎演習Ⅰ	2前	2			1	2							
		心理学基礎演習Ⅱ	2後	2			1	2							
		心理学専門演習Ⅰ	3前	2			4	3	1						
		心理学専門演習Ⅱ	3後	2			4	3	1						
心理学専門演習Ⅲ		4前	2			4	3	1							
心理学専門演習Ⅳ		4後	2			4	3	1							
卒業研究		4通	6			4	3	1							
小計(7科目)	-	18	0	0	4	3	1	0	0	0	0				
専門教育科目	基礎科目	経営学	1前	2									1		
		企業分析論	2前	2										1	
		広告心理学	3前	2				1							
		消費者心理学	3後	2										1	
		産業・組織心理学	3前	2				1							
		キャリア支援の心理学	3後	2										1	
		社会心理学実験・実習	2後	1				1							
		知覚・認知心理学	2後	2				1							
		色彩心理学	2前	2				1							
		色彩学	2後	2				1							
		音楽心理学	2後	2										1	
		心理学プログラミング実習	3後	1										1	
		公認心理師・臨床心理士コース	発達臨床心理学Ⅰ	2前	2				1						
			発達臨床心理学Ⅱ	2後	2				1						
			臨床心理学実習	2前	1				1						1
			カウンセリング	3前	2				1						
	精神疾患とその治療		3後	2			1		1						
	心理的アセスメント		3前	1										1	
	青年心理学		2前	2										1	
	福祉心理学		2後	2										1	
	障害者・障害児心理学		3後	2										1	
	司法・犯罪心理学		3前	2										1	
	関係行政論		3後	2										1	
	公認心理師の職責		3前	2			1		1						
	心理演習		3後	2			1	1							
	心理実習		3前・休	2			4	1	1						
	子ども実習		2休	1			1								
	神経・生理心理学		3前	2										1	
	健康・医療心理学		2前	2										1	
	人体の構造と機能及び疾病	3後	2										1		
	小計(30科目)	-	0	55	0	4	3	1	0	0	0	13			
	学部内共通科目	デザイン思考論	1前	2										1	
		社会イノベーション論	2後	2										1	
プレゼンテーションの技法		2後	2										1		
ビジネス心理学		1後	2										1		
経済心理学		2前	2				1								
マーケティング論		2後	2										1		
小計(6科目)	-	0	12	0	0	1	0	0	0	0	4				
発展科目	短い心理学	1前	2				1								
	家族心理学	1後	2				1								
	子どもから見た世界	1後	2			1									
	発達心理学	2後	2										1		
	教育・学校心理学	3後	2				1								
	神経心理学	2前	2										1		
	自然環境と心理	1休	2										1		
	スポーツ心理学	2前・後	2										2		
	英書講読A	3前	2				1								
	英書講読B	4前	2			1									
	情報と統計	1前	2										1		
	心理学統計法	2後	2				1								
	多変量解析	4前	2				1								
	心理学研究法Ⅱ	3前	2			1									
	心理学実験	3後	1			1									
海外心理学研修	1休	3			1										
小計(16科目)	-	0	32	0	2	3	0	0	0	0	6				
合計(68科目)	-	34	99	0	4	3	1	0	0	0	23				

卒業要件及び履修方法

共通教育科目群から必修科目10単位、選択科目10単位以上、専門教育科目群から必修科目34単位、選択科目42単位以上を修得し、124単位を修得すること。
(履修科目の登録の上限:50単位(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨床実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・ 担当者変更のため、「基礎演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」、「准教授2」から「准教授3」に変更。
- ・ 担当者変更のため、「基礎演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」、「准教授2」から「准教授2」、「講師1」に変更。
- ・ 教育指導体制充実のため、「ICT基礎Ⅰ」及び「ICT基礎Ⅱ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育指導体制充実のため、「総合英語Ⅰ」及び「総合英語Ⅱ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・ 教育指導体制充実のため、「韓国朝鮮語Ⅰ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・ 時間割編成の都合により、「哲学」の配当年次を「1後」から「1前」に、「経済学」を「1前」から「1後」に変更。
- ・ 担当者の調整により、「心理学概論」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・ 教育指導体制充実のため、「ボランティア実習」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目「世界の現状と課題」を新設。
- ・ 担当者の調整により、「日本語Ⅰ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 時間割編成の都合により、「経営学」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・ 担当者変更のため、「ビジネス心理学」の専任教員等の配置、兼任・兼任教員の配置を「准教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 担当者の調整により、「粧いの心理学」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・ 担当者の都合により、「自然環境と心理」を「1前」から「1休」に変更。

【令和4年度】

- ・ 担当者変更のため、「基礎演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「教授1」、「准教授1」に変更。
- ・ 担当者変更のため、「基礎演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授2」、「講師1」から「准教授2」に変更。
- ・ 担当者の調整により、「ICT基礎Ⅰ」、「ICT基礎Ⅱ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 担当者の調整により、「総合英語Ⅰ」、「総合英語Ⅱ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・ 担当者の調整により、「韓国朝鮮語Ⅰ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 時間割編成の都合により、「社会学」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・ 担当者の調整により、「基礎体育学」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 担当者の調整により、「アジア文化研修」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目「AIとデータサイエンス」を新設。
- ・ 担当者の昇格により、「キャリア探究Ⅰ」、「キャリア探究Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・ 担当者の調整により、「日本語能力試験Ⅰ」の兼任・兼任教員の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 担当者の昇格により、「社会・集団・家族心理学」、「社会心理学実験・実習」、「経済心理学」、「家族心理学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・ 担当者の昇格により、「臨床心理学概論」、「心理学的支援法」、「発達臨床心理学Ⅰ」、「発達臨床心理学Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・ 担当者の昇格により、「心理学基礎演習Ⅰ」、「心理学基礎演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」、「准教授2」から「教授2」、「准教授1」に変更。
- ・ 時間割編成の都合により、「色彩心理学」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。
- ・ 担当者変更のため、「色彩学」の専任教員等の配置、兼任・兼任教員の配置を「准教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 担当者の昇格、時間割編成の都合により、「臨床心理学実習」の専任教員等の配置、兼任・兼任教員の配置を「講師1」、「兼任・兼任1」から「准教授1」、「兼任・兼任1」に変更するとともに、配当年次を「2前」から「2後」に変更。
- ・ 教育指導体制充実のため、「子ども実習」の専任教員等の配置、兼任・兼任教員の配置を「教授1」から「教授1」、「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 時間割編成の都合により、「ビジネス心理学」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・ 教育指導体制充実のため、「粧いの心理学」の専任教員等の配置、兼任・兼任教員の配置を「准教授1」から「准教授1」、「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 時間割編成の都合により、「情報と統計」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
25 科目	128 科目	0 科目	153 科目	25 科目 []	130 科目 [2]	科目 []	155 科目 [2]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	現代と金融	2	2			講師就任辞退のため、後任者採用予定
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

共通教育科目の「現代と金融」については、野村証券株式会社の協力による科目であったが、担当者の退職に伴い、後任が決まらず、未開講となった。学生へは、学生要覧に未開講の旨を示したうえで、履修登録オリエンテーション時に周知した。
 本科目は、業界からの生きたデータを利用した講義であり、一定の履修者数があったため、次年度以降については、講義担当者、依頼企業等を検討中である。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{153} = \boxed{0.65}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	体育館新築に伴う変更		
	校舎敷地	17,904 18,129 m ²	m ²	m ²	17,904 18,129			
	運動場用地	9,523 11,423 m ²	m ²	m ²	9,523 11,423			
	小 計	27,427 29,552 m ²	m ²	m ²	27,427 29,552			
	そ の 他	5,870 3,745 m ²	m ²	m ²	5,870 3,745			
	合 計	33,297 m ²	m ²	m ²	33,297 m ²			
(2) 校舎	専 用	20,469 m ²	0 m ²	0 m ²	20,469 m ²	別途、大学院・通信教育課程で使用するサテライトキャンパス(フロア賃貸)743m ² 有 契約解除による変更		
	(20,469 m ²)	(0 m ²)	(0 m ²)	(20,469 m ²)				
(3) 教室等	講義室	30 33 室	演習室 16 14 室	実験実習室 17 室	情報処理学習施設 4 室 (補助職員 人)	語学学習施設 0 室 (補助職員 人)	用途変更等に伴う変更	
	新設学部等の名称	文学部 心理学科			室 数 9 室			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書・資料の受け入れ・除却による増減のための変更 教育研究用機器備品及び管理用機器備品の増減に伴う変更
	文学部心理学科	252,065 (45,416) 251,206 [45,382] 249,500 [45,310] (252,065 [45,416]) -(251,206 [45,382]) (249,500 [45,310])	3,872 [2,664] 4,378 [3,168] (3,872 [2,664]) (4,378 [3,168])	2,370 [2,311] 2,873 [2,814] (2,370 [2,311]) (2,873 [2,814])	4,433 4,412 4,375 (4,433) (4,412) (4,375)	2,023 3,083 2,875 (2,023) (3,083) (2,875)	0 (0)	
	計	252,065 (45,416) 251,206 [45,382] 249,500 [45,310] (252,065 [45,416]) (251,206 [45,382]) (249,500 [45,310])	3,872 [2,664] 4,378 [3,168] (3,872 [2,664]) (4,378 [3,168])	2,370 [2,311] 2,873 [2,814] (2,370 [2,311]) (2,873 [2,814])	4,433 4,412 4,375 (4,433) (4,412) (4,375)	2,023 3,083 2,875 (2,023) (3,083) (2,875)	0 (0)	
(6) 図書館	面 積	2,740 m ²		閲覧座席数 249	収納可能冊数 236,000			
	面 積	5,122 1,811 m ²		体育館以外のスポーツ施設の概要 弓道場(射場・的場) テニスコート3面 トレーニング室 エアロビクススタジオ 多目的ダンス室				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
	経費の見積り	教員1人当たり研究費等	500千円	500千円	図書購入費	9,050千円	9,050千円	9,050千円
		共同研究費等	2,500千円	2,500千円	設備購入費	56,994千円	56,994千円	56,994千円
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,400千円	1,170千円	1,170千円	1,170千円	—千円	—千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	神戸親和女子大学						学生募集停止学科数	1	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
文学部	4	120	0	360		0.88	0.60		昭和41	兵庫県神戸市北区 鈴蘭台北町7丁目13番1号	
国際文化学科	4	60	0	240	学士 (文化学)	0.88	0.60	-	平成15	同上	
心理学科	4	60	0	120	学士 (心理学)	0.76	0.70	-	令和3	同上	
教育学部	4	265	0	1,270	-	0.80	0.65	-	平成17	同上	
児童教育学科	4	195	0	840	学士 (児童教育学)	0.80	0.59	-	平成17	同上	令和4年度入学定員変更(△20)
心理学科	4	-	-	120	学士 (心理学)	-	-	-	平成17	同上	令和3年度学生募集停止
福祉臨床学科	4	-	-	-	学士 (社会福祉学)	-	-	-	平成17	同上	令和元年度学生募集停止
スポーツ教育学科	4	70	0	310	学士 (スポーツ教育学)	0.76	0.80	-	平成20	同上	令和4年度入学定員変更(△10)
大学全体(学部)	-	385	0	1,630	-			-	-	-	
教育学部(通信教育課程)											
児童教育学科(通信教育課程)	4	200	400	1,600	学士 (児童教育学)	0.07	0.04	-	平成18	同上	
福祉臨床学科(通信教育課程)	4	-	-	-	学士 (社会福祉学)	-	-	-	平成18	同上	令和元年度学生募集停止

大学の名称	神戸親和女子大学大学院					学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度
大学院文学研究科	2	35		70						
心理臨床学専攻(修士課程)	2	15	-	30	修士(心理学)	0.40	0.53	-	平成14	同上
教育学専攻(修士課程)	2	20	-	40	修士(教育学)	0.78	0.40	-	平成14	同上
			-		-			-		-
			-					-		-
大学院全体	2	35		70		-	-	-	-	-

大学の名称	〇〇短期大学					学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍	倍			

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<文学部 心理学科>

(1) -① 担当教員表

(掲載省略)

(1) -②担当教員表に関する変更内容

(掲載省略)

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
6 名	3 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
5	3	1	0	9	0	6	3	0	0	9	0
(5)	(3)	(1)	(0)	(9)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
6	3	0	0	9	0	6	3	0	0	9	0
[1]	[0]	[Δ 1]	[0]	[0]	[0]	[1]	[0]	[Δ 1]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、
教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、
「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
70 歳	0 名	1 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、
 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている
 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入
 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{9}{9} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(掲載省略)

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(掲載省略)

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<文学部 心理学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 施設・設備 体育館 (1811㎡)	① 学生の修学環境を改善するため、体育館 (3311㎡) を新設した。(3)

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>(1) ファカルティ・ディベロップメント推進委員会</p> <p>(2) 授業評価専門部会</p> <p>b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)</p> <p>(1) ファカルティ・ディベロップメント推進委員会 年4回開催</p> <p>教員の参加</p> <p>第1回 6名中4名参加</p> <p>第2回 6名中6名参加</p> <p>第3回 6名中6名参加</p> <p>第4回 6名中4名参加</p> <p>(2) 授業評価専門部会 年4回開催</p> <p>教員の参加</p> <p>第1回 5名中4名参加</p> <p>第2回 5名中4名参加</p> <p>第3回 5名中5名参加</p> <p>第4回 5名中4名参加</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>【ファカルティ・ディベロップメント推進委員会】</p> <p>(1) FDに関する基本方針の策定に関する事項</p> <p>(2) FD活動の企画・運営・実施に関する事項</p> <p>(3) FD活動の評価に関する事項</p> <p>(4) 学外とのFDに関わる連携に関する事項</p> <p>(5) その他委員会が必要と認める事項</p> <p>具体的な審議内容：FD活動計画、報告について (研修会の企画・実施、研修会の参加状況報告等)</p> <p>【授業評価専門部会】</p> <p>(1) 授業評価アンケートの企画に関すること</p> <p>(2) 授業評価アンケートの実施に関すること</p> <p>(3) 授業評価アンケート結果の集計、分析及び公表に関すること</p> <p>(4) 授業評価アンケート結果の授業評価委員会への報告に関すること</p> <p>(5) その他授業評価アンケートに関して必要なこと</p> <p>具体的な審議内容：授業評価の実施について (学生、教員へのアンケート実施、アンケート項目の検討、教え方の優れた授業の公表、教員アンケート結果公表等)</p>
--

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 学科別活動（心理学科）
障がいのある学生への支援の実際と課題
- ・ 夏期研修会（大学全体）
リテラシーとしての数理・データサイエンス・AI教育プログラム
—デジタル社会の「読み・書き・そろばん」として—
- ・ 公開授業（大学全体）
- ・ 公開授業後全体研修会（大学全体）
コロナ後・パソコン必携化後の授業と学生の学びの変化

b 実施方法

- ・ 研修会の内容を委員会で検討したうえで、FD研修会をZoomにて実施。
- ・ 公開授業については、公開対象授業から各教員が授業を参観したうえで、全体研修会を実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

学科別活動（心理学科）

- ・ 2021年9月14日（火） 参加者：8名 参加率：88.9%

夏期研修会（大学全体）

- ・ 2021年9月8日（水） 参加者：64名 参加率：83.1%
 - ・ 2021年9月10日（金）～ 2021年9月20日（月） ※ビデオ視聴 参加者：10名 参加率：13.0%
- 全体の参加者：74名 全体の参加率：96.1%

公開授業（大学全体）

- ・ 2021年11月8日（月）～ 11月19日（金） 参観者：59名 参加率：76.6%
- 被参観者：45名 参加率：58.4%

公開授業後全体研修会（大学全体）

- ・ 2021年12月8日（水） 参加者：68名 参加率：88.3%

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 教員に対して、授業評価結果から授業のやり方を見直したかどうかのアンケートを実施。
- ・ 年度始めには、各教員が学生の授業に対する評価や要望等を把握したうえで授業改善に取り組むため、授業改善計画を作成し、年度末に計画に対する自己評価をしている。収集した計画書および自己評価は、学内LANシステムにて教員間で情報の共有をし、授業内容の改善に活用している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施の有無

春・秋の年2回、学生による授業評価を実施

実施時期

2021年7月14日（水）～2021年8月3日（火）

2022年1月17日（月）～2022年2月4日（金）

実施方法

アンケートを全教員、全科目（一部、実施形態が異なる科目を除く）対象にWEBにて実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 教員に対して、学務システムにて結果公開し、WEB上で学生からの意見を閲覧可能としている。
また、各教員のアンケート結果と全科目の平均との比較できる資料、授業評価アンケート全体の結果、授業ごとの回答状況を各教員に学務システムにて周知している。
- ・ 学生に対しては、学務システムと掲示にて教え方の優れた授業一覧を公表している。
- ・ 教員へのアンケート実施後、結果を学務システムと掲示にて公表している。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

「該当なし」

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成3年度、平成4年度の入学者数はそれぞれ49名、42名となっており、令和4年度の入学定員充足率は0.70で、平均入学定員充足率は0.76となった。次年度に向けて、協定校の開拓、オープンキャンパスの実施、高校訪問の充実など入学生確保の方策を充実させるとともに、教育改革、入試改革を進め、入学者確保に努める。

教育課程については、計画通り教員の確保ができ、実施計画通りに実施している。今後、設置の趣旨・目的を達成するべく教育内容のさらなる充実に努めることとしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和3年度に受審した認証評価における点検・評価報告書を令和4年3月末に公表

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開した。（令和4年3月末）

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・令和3年度に評価機関（大学基準協会）の認証評価を受審した。「本学は大学基準協会の大学基準に適合している。」と認定された。次回は令和10年度に受審する予定である。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。